⟨県別トピック⟩

【青森県】 (資料 P14～P16参照)

○浅瀬石川ダムは底生動物にとって良好な生物生息環境を維持！

全国で調査を実施した16ダム中最も多い178種の底生動物が浅瀬石川ダムで確認され、特定種ではモノアライガイが確認されました。底生動物にとって良好な環境を保ち、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

モノアライガイ (高瀬川)



写真：国土交通省
高瀬川河川事務所

○オオクチバス (ブラックバス) は今回の調査では未確認。(高瀬川)

今回の調査では、前回調査 (2巡目) で確認されたオオクチバス (ブラックバス) は確認されませんでした。今後も継続的にモニタリングを実施していく必要があります。

【岩手県】 (資料 P17～P18参照)

○岩手県内を流れる河川とダムは、多様かつ貴重な陸上昆虫類が生息し、良好な生息環境を維持！

準絶滅危惧種のオオムラサキが、四十四田ダムと御所ダムで初めて確認され、北上川ではオオムラサキの他、絶滅危惧Ⅰ類のヒヌマイトトンボが前回調査 (2巡目) から引き続き確認されました。岩手県の水辺は、陸上昆虫にとって、良好な環境を保ち、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

○外来種のブタクサハムシを北上川、四十四田ダム、御所ダムで初確認！在来種への影響が懸念される。

外来種のブタクサハムシが近年急速に生息域を拡大しており、在来種への影響が懸念されるため、今後も継続的にモニタリングを実施していく必要があります。

準絶滅危惧種のオオムラサキ



写真： 国土交通省
北上川ダム統合管理事務所

急速に生息域が拡大している
ブタクサハムシ



写真： 国土交通省
北上川ダム統合管理事務所

【宮城県】 (資料 P19～P23参照)

○宮城県内を流れる河川とダムにおいて貴重種を多数確認！様々な生物にとって、良好な生息環境を維持。

メダカ（魚類）、オジロワシ（鳥類）、ヒメサユリ（植物）等の数多くの特定種が確認され、生物にとって良好な空間を保ち、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

メダカ（阿武隈川）



写真：国土交通省
仙台河川国道事務所

開花前のヒメサユリ
（七ヶ宿ダム）



写真：国土交通省
七ヶ宿ダム管理所

○外来種のアレチウリ（植物）が、特定外来生物として指定。七ヶ宿ダムにて初めて確認！

平成18年2月1日に特定外来生物として指定されたアレチウリ（植物）が、七ヶ宿ダムにおいて初めて確認されました。在来種への影響が懸念される為、今後も継続的にモニタリングを実施していく必要があります。

【秋田県】 (資料 P24～P27参照)

○秋田県内の河川とダムは、植物、陸上昆虫にとって多様かつ良好な生息環境を維持！貴重種も数多く確認。

絶滅危惧Ⅰ類のオオセスジイトトンボ（陸上昆虫）等の数多くの特定種が確認され、生物にとって良好な空間を保ち、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

オオセスジイトトンボ（雄物川）



写真： 国土交通省
秋田河川国道事務所

○特定外来生物の植物3種を米代川で確認！

特定外来生物として指定された植物のアレチウリとオオハンゴンソウが平成7年度より引き続き確認され、今回新たにオオキンケイギクが確認されました。在来種への影響が懸念される為、今後も継続的にモニタリングを実施していく必要があります。



アレチウリ



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ

写真：（財）リバーフロント整備センター「川の自然をみつめてみよう② ～河川の外来種図鑑～」 より

【山形県】 (資料 P28～P30参照)

○山形県内の河川とダム周辺の植物環境は、全国的にも多様で貴重な種が多く分布している事が判明！

全国的にも多い876種の植物が最上川で確認され、特定種では寒河江ダムにて絶滅危惧ＩＢ 類のイイヌマムカゴやホソバツルリンドウが確認されるなど、生物にとって良好な空間を保ち、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

○特定外来生物として指定された植物3種を確認。

これまでの調査（2巡目調査まで）でも確認されている植物のアレチウリ、オオキンケイギク、オオハンゴンソウが特定外来生物として指定されました。これらの植物は在来種への影響が懸念される為、今後も継続的にモニタリングを実施していく必要があります。



アレチウリ



オオキンケイギク



オオハンゴンソウ

写真：(財) リバーフロント整備センター「川の自然をみつめてみよう② ～河川の外来種図鑑～」 より

【福島県】 (資料 P31～P33参照)

○阿武隈川と三春ダムに生息する魚介類、底生動物は、全国的にも多様で貴重な種が多く分布している事が判明！

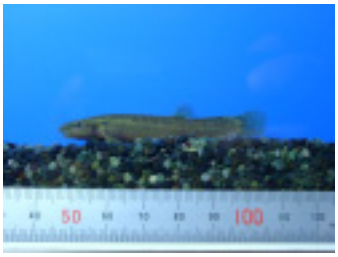
メダカ（魚類）、ホトケドジョウ（魚類）、コオイムシ（底生動物）等の数多くの特定種が確認され、生物にとって良好な空間を保ち、貴重な生物の生息空間となっていることが伺えます。

メダカ（阿武隈川）



写真：国土交通省
福島河川国道事務所

三春ダムにて確認された
絶滅危惧種のホトケドジョウ



写真：国土交通省
三春ダム管理所

○ブルーギル、オオクチバス（ブラックバス）の特定外来生物が、阿武隈川と三春ダムへ定着。

特定外来生物として指定されている魚類3種が前回調査（2巡目）から引き続き確認されました。特に阿武隈川で確認されたコクチバスは、小型の個体が数多く確認されました。在来魚への影響が懸念される為、今後も継続的にモニタリングを実施していく必要があります。

阿武隈川にて発見された
小型（10cm程度）のコクチバス

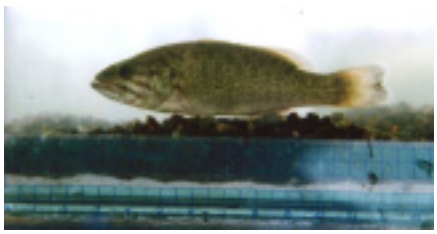


写真　：国土交通省
福島河川国道事務所